

1. 検査項目及び検査方法

(1) 毎日検査項目

	項目	単位	評価	検査方法
1	気温	℃	—	棒状温度計測定法
2	水温	℃	—	棒状温度計測定法
3	外観(色・濁り)	—	異常でないこと	目視
4	臭味	—	異常でないこと	官能法
5	消毒の残留効果(遊離残留塩素)	mg/L	0.1 以上	ジエチル-p-フェニレンジアミン法

(2) 水質基準項目(水質基準に関する省令 平成15年5月30日 厚生労働省令第101号)

	項目	単位	基準値	検査方法	備考 ^{注3}
1	一般細菌	個/mL	100 以下	標準寒天培地法	微生物
2	大腸菌	—	検出されないこと	特定酵素基質培地法	
3	カドミウム及びその化合物	mg/L	0.003 以下	ICP-MS法	金属 無機物質
4	水銀及びその化合物 ^{注1}	mg/L	0.0005 以下	還元気化-原子吸光度法	
5	セレン及びその化合物	mg/L	0.01 以下	ICP-MS法	
6	鉛及びその化合物	mg/L	0.01 以下	ICP-MS法	
7	ヒ素及びその化合物	mg/L	0.01 以下	ICP-MS法	
8	六価クロム化合物	mg/L	0.05 以下	ICP-MS法	
9	亜硝酸態窒素	mg/L	0.04 以下	イオンクロマトグラフ法	
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	0.01 以下	イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光度法	
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	10 以下	イオンクロマトグラフ法	
12	フッ素及びその化合物	mg/L	0.8 以下	イオンクロマトグラフ法	
13	ホウ素及びその化合物	mg/L	1.0 以下	ICP-MS法	一般有機 化学物質
14	四塩化炭素	mg/L	0.002 以下	HS-GC-MS法	
15	1,4-ジオキサン	mg/L	0.05 以下	HS-GC-MS法	
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04 以下	HS-GC-MS法	
17	ジクロロメタン	mg/L	0.02 以下	HS-GC-MS法	
18	テトラクロロエチレン	mg/L	0.01 以下	HS-GC-MS法	
19	トリクロロエチレン	mg/L	0.01 以下	HS-GC-MS法	
20	ベンゼン	mg/L	0.01 以下	HS-GC-MS法	
21	塩素酸	mg/L	0.6 以下	イオンクロマトグラフ法	
22	クロロ酢酸 ^{注2}	mg/L	0.02 以下	LC-MS法	
23	クロロホルム	mg/L	0.06 以下	HS-GC-MS法	
24	ジクロロ酢酸 ^{注2}	mg/L	0.03 以下	LC-MS法	
25	ジプロモクロロメタン	mg/L	0.1 以下	HS-GC-MS法	
26	臭素酸	mg/L	0.01 以下	イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光度法	
27	総トリハロメタン	mg/L	0.1 以下	HS-GC-MS法	
28	トリクロロ酢酸 ^{注2}	mg/L	0.03 以下	LC-MS法	
29	プロモジクロロメタン	mg/L	0.03 以下	HS-GC-MS法	
30	プロモホルム	mg/L	0.09 以下	HS-GC-MS法	
31	ホルムアルデヒド ^{注2}	mg/L	0.08 以下	誘導体化-高速液体クロマトグラフ法	
32	亜鉛及びその化合物	mg/L	1.0 以下	ICP-MS法	色
33	アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.2 以下	ICP-MS法	
34	鉄及びその化合物	mg/L	0.3 以下	ICP-MS法	
35	銅及びその化合物	mg/L	1.0 以下	ICP-MS法	味覚・色
36	ナトリウム及びその化合物	mg/L	200 以下	イオンクロマトグラフ法	
37	マンガン及びその化合物	mg/L	0.05 以下	ICP-MS法	味 覚
38	塩化物イオン	mg/L	200 以下	イオンクロマトグラフ法	
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	300 以下	イオンクロマトグラフ法	
40	蒸発残留物	mg/L	500 以下	重量法	発 泡
41	陰イオン界面活性剤 ^{注1}	mg/L	0.2 以下	固相抽出-HPLC法	
42	ジェオスミン	μg/L	0.01 以下	PT-GC-MS法	に お い
43	2-メチルイソボルネオール	μg/L	0.01 以下	PT-GC-MS法	
44	非イオン界面活性剤 ^{注1}	mg/L	0.02 以下	固相抽出-吸光度法	発 泡
45	フェノール類 ^{注1}	mg/L	0.005 以下	固相抽出-誘導体化-GC-MS法	
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	3 以下	全有機炭素計測定法	に お い
47	pH値	—	5.8以上8.6以下	ガラス電極法	
48	味	—	異常でないこと	官能法	一般的性状
49	臭気	—	異常でないこと	官能法	
50	色度	度	5 以下	透過光測定法	
51	濁度	度	2 以下	積分球式光光度法	

注1:浄水場を出てからの配水過程で濃度の変化が見込まれないため、給水栓水での検査を省略する。

注2:浄水処理工程における塩素消毒の生成物であるため、原水での検査を省略する。

注3:備考に関しては、「水道水質事典-増補版-日本水道新聞社」を引用している。

(3) 水質管理目標設定項目

(厚生労働省健康局長通知 平成15年10月10日 健発第1010004号)

	項 目	単 位	目 標 値	検 査 方 法	備 考 ^{注6}
1	アンチモン及びその化合物	mg/L	0.02 以下	ICP-MS法	金 属 ・ 無 機 物 質
2	ウラン及びその化合物	mg/L	0.002 以下 ^{注4}	ICP-MS法	
3	ニッケル及びその化合物	mg/L	0.02 以下	ICP-MS法	
5	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004 以下	HS-GC-MS法	一 般 有 機 化 学 物 質
8	トルエン	mg/L	0.4 以下	HS-GC-MS法	
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	mg/L	0.08 以下	溶媒抽出-GC-MS法	
10	亜塩素酸	mg/L	0.6 以下	イオンクロマトグラフ法	消 毒 剤 ・ 消 毒 副 物
12	二酸化塩素 ^{注1}	mg/L	0.6 以下		
13	ジクロロアセトニトリル ^{注3}	mg/L	0.01 以下 ^{注4}	溶媒抽出-GC-MS法	消 毒 副 物
14	抱水クロラール ^{注3}	mg/L	0.02 以下 ^{注4}	溶媒抽出-GC-MS法	
15	農薬類	-	検出値と目標値の 比の和として1以下 ^{注5}	農薬毎に定められた方法による	農 薬
16	残留塩素	mg/L	1 以下	ジエチル-p-フェニレンジアミン法	に お い
17	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	10以上100以下	イオンクロマトグラフ法	味 覚
18	マンガン及びその化合物	mg/L	0.01 以下	ICP-MS法	色
19	遊離炭酸	mg/L	20 以下	滴定法	味 覚
20	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.3 以下	HS-GC-MS法	に お い
21	メチルtertブチルエーテル	mg/L	0.02 以下	HS-GC-MS法	一般有機化学物質
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量) ^{注2}	mg/L	3 以下		味 覚
23	臭気強度(TON)	-	3 以下	官能法	に お い
24	蒸発残留物	mg/L	30以上200以下	重量法	味 覚
25	濁度	度	1 以下	積分球式光電光度法	一般的性状
26	pH値	-	7.5 程度	ガラス電極法	
27	腐食性(ランゲリア指数)	-	-1程度以上とし 極力0に近づける	計算法	腐 食
28	従属栄養細菌	個/mL	2000 以下 ^{注4}	R2A寒天培地法	微 生 物
29	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1 以下	HS-GC-MS法	一般有機化学物質
30	アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.1 以下	ICP-MS法	色

注1:大分市水道局では二酸化塩素を使用しないので、検査を行わない。

注2:基準項目で有機物(TOC)の検査を行うため、省略する。

注3:浄水処理工程における塩素消毒の生成物であるため、原水での検査を省略する。

注4:暫定値を示す。

注5:総農薬方式により計算される検出指針値を算出する。

$$\text{検出指針値} = \text{各項目検出値と各項目目標値の比の和} = \sum \frac{\text{各項目検出値}}{\text{各項目目標値}}$$

注6:備考に関しては、「水道水質事典-増補版- 日本水道新聞社」を引用している。

(4) 農薬類(水質管理目標設定項目15)対象項目
 [対象農薬120項目のうち60項目(No. 1~84)を掲載]

	項 目	用 途	単 位	目 標 値	検 査 方 法
1	1,3-ジクロロプロペン (D-D)	殺虫剤	mg/L	0.05	HS-GC-MS法
2	2,2-DPA (ダラボン)	除草剤	mg/L	0.08	LC-MS法
3	2,4-D (2,4-PA)	除草剤	mg/L	0.03	固相抽出-LC-MS法
4	EPN	殺虫剤	mg/L	0.004	固相抽出-GC-MS法
6	アシュラム	除草剤	mg/L	0.9	固相抽出-LC-MS法
7	アセフェート	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.006	固相抽出-LC-MS法
8	アトラジン	除草剤	mg/L	0.01	固相抽出-GC-MS法
9	アニロホス：失効農薬	除草剤	mg/L	0.003	固相抽出-GC-MS法
11	アラクロール	除草剤	mg/L	0.03	固相抽出-GC-MS法
12	イソキサチオン	殺虫剤	mg/L	0.008	固相抽出-GC-MS法
13	イソフェンホス：失効農薬	殺菌剤	mg/L	0.001	固相抽出-GC-MS法
14	イソプロカルブ (MIPC)	殺虫剤	mg/L	0.01	固相抽出-GC-MS法
15	イソプロチオラン (IPT)	殺虫剤・殺菌剤植物成長調整剤	mg/L	0.3	固相抽出-GC-MS法
16	イプロベンホス (IBP)	殺菌剤	mg/L	0.09	固相抽出-GC-MS法
17	イミノクタジン	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.006	LC-MS法
19	エスプロカルブ	除草剤	mg/L	0.03	固相抽出-GC-MS法
20	エディフェンホス (エジフェンホス、EDDP)：失効農薬	殺菌剤	mg/L	0.006	固相抽出-GC-MS法
21	エトフェンブロックス	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.08	固相抽出-GC-MS法
22	エトリジアゾール (エクロメゾール)：失効農薬	殺菌剤	mg/L	0.004	固相抽出-GC-MS法
23	エンドスルファン (ベンゾエピン)：失効農薬	殺虫剤	mg/L	0.01	固相抽出-GC-MS法
25	オキシ銅 (有機銅)	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.03	固相抽出-LC-MS法
28	カフェンストロール	殺虫剤・除草剤	mg/L	0.008	固相抽出-GC-MS法
30	カルバリル (NAC)	殺虫剤	mg/L	0.05	固相抽出-LC-MS法
31	カルプロバミド	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.04	固相抽出-LC-MS法
32	カルボフラン：カルボスルファン代謝物	代謝物	mg/L	0.005	固相抽出-LC-MS法
34	キャプタン	殺菌剤	mg/L	0.3	固相抽出-GC-MS法
36	グリホサート	除草剤	mg/L	2	誘導体化-HPLC法
39	クロロニトロフェン (CNP)：失効農薬	除草剤	mg/L	0.0001	固相抽出-GC-MS法
40	クロルピリホス	殺虫剤	mg/L	0.003	固相抽出-GC-MS法
41	クロロタロニル (TPN)	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.05	固相抽出-GC-MS法
44	ジウロン (DCMU)	除草剤	mg/L	0.02	固相抽出-LC-MS法
45	ジクロベニル (DBN)	除草剤	mg/L	0.03	固相抽出-GC-MS法
46	ジクロルボス (DDVP)：失効農薬	殺虫剤	mg/L	0.008	固相抽出-GC-MS法
47	ジクワット	除草剤	mg/L	0.005	LC-MS法
48	ジスルホトン (エチルチオメトン)	殺虫剤	mg/L	0.004	固相抽出-GC-MS法
51	ジチオピル	除草剤	mg/L	0.009	固相抽出-GC-MS法
53	シマジン (CAT)	除草剤	mg/L	0.003	固相抽出-GC-MS法
54	ジメタメトリン	除草剤	mg/L	0.02	固相抽出-GC-MS法
55	ジメトエート	殺虫剤	mg/L	0.05	固相抽出-GC-MS法
56	シメトリン	除草剤	mg/L	0.03	固相抽出-GC-MS法
57	ジメピペレート：失効農薬	除草剤	mg/L	0.003	固相抽出-GC-MS法
58	ダイアジノン	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.003	固相抽出-GC-MS法
59	ダイムロン	殺虫剤・殺菌剤除草剤	mg/L	0.8	固相抽出-LC-MS法
62	チウラム	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.02	固相抽出-LC-MS法
63	チオジカルブ	殺虫剤	mg/L	0.08	固相抽出-LC-MS法
64	チオファネートメチル	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.3	固相抽出-LC-MS法
65	チオベンカルブ	除草剤	mg/L	0.02	固相抽出-GC-MS法
66	テルブカルブ (MBPMC)：失効農薬	除草剤	mg/L	0.02	固相抽出-GC-MS法
67	トリクロピル	除草剤	mg/L	0.006	固相抽出-LC-MS法
69	トリシクラゾール	殺虫剤・殺菌剤植物成長調整剤	mg/L	0.01	固相抽出-LC-MS法
70	トリフルラリン	除草剤	mg/L	0.06	固相抽出-GC-MS法
71	ナプロバミド	除草剤	mg/L	0.03	固相抽出-GC-MS法
73	ピペロホス：失効農薬	除草剤	mg/L	0.0009	固相抽出-GC-MS法
77	ピリダフェンチオン：失効農薬	殺虫剤	mg/L	0.002	固相抽出-GC-MS法
78	ピリブチカルブ	除草剤	mg/L	0.02	固相抽出-GC-MS法
79	ピロキロン	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.05	固相抽出-GC-MS法
80	フィプロニル	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.0005	固相抽出-LC-MS法
81	フェニトロチオン (MEP)	殺虫剤・殺菌剤植物成長調整剤	mg/L	0.001	固相抽出-GC-MS法
82	フェノブカルブ (BPMC)	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.03	固相抽出-GC-MS法
84	フェンチオン (MPP)	殺虫剤	mg/L	0.006	固相抽出-GC-MS法

[対象農薬120項目のうち25項目(No. 85~120)を掲載]

	項 目	用 途	単 位	目 標 値	検 査 方 法
85	フェントエート (PAP)	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.007	固相抽出—GC—MS法
87	フサライド	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.1	固相抽出—GC—MS法
89	ブタミホス	除草剤	mg/L	0.02	固相抽出—GC—MS法
90	ブプロフェジン	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.02	固相抽出—GC—MS法
92	プレチラクロール	除草剤	mg/L	0.05	固相抽出—GC—MS法
93	プロシミドン	殺菌剤	mg/L	0.09	固相抽出—GC—MS法
95	プロピコナゾール	殺菌剤	mg/L	0.05	固相抽出—GC—MS法
96	プロピザミド	除草剤	mg/L	0.05	固相抽出—GC—MS法
97	プロベナゾール	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.05	固相抽出—LC—MS法
98	プロモプチド	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.1	固相抽出—GC—MS法
99	ベノミル	殺菌剤	mg/L	0.02	固相抽出—LC—MS法
100	ベンシクロン	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.1	固相抽出—GC—MS法
103	ベントazon: 失効農薬	除草剤	mg/L	0.2	固相抽出—LC—MS法
104	ペンディメタリン	除草剤植物成長調整剤	mg/L	0.3	固相抽出—GC—MS法
105	ベンフラカルブ	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.04	固相抽出—LC—MS法
106	ベンフルラリン (バスロジン)	除草剤	mg/L	0.01	固相抽出—GC—MS法
109	マラチオン (マラソン)	殺虫剤	mg/L	0.7	固相抽出—GC—MS法
110	メコプロップ (MCP)	除草剤	mg/L	0.05	固相抽出—LC—MS法
111	メソミル	殺虫剤	mg/L	0.03	固相抽出—LC—MS法
113	メタラキシル	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.06	固相抽出—GC—MS法
114	メチダチオン (DMTP)	殺虫剤	mg/L	0.004	固相抽出—GC—MS法
115	メチルダイムロン: 失効農薬	除草剤	mg/L	0.03	固相抽出—GC—MS法
118	メフェナセツト	除草剤	mg/L	0.02	固相抽出—GC—MS法
119	メプロニル	殺虫剤・殺菌剤	mg/L	0.1	固相抽出—GC—MS法
120	モリネート	除草剤	mg/L	0.005	固相抽出—GC—MS法

(5) 水質管理上必要な項目(補完)

	項 目	単 位	検 査 方 法	備 考
1	水温	℃	棒状温度計測定法	一般の性状
2	アルカリ度	mg/L	滴定法	無機の性状
3	電気伝導率	μ S/cm	電極法	
4	リチウムイオン	mg/L	イオンクロマトグラフ法	金 属 無 機 物 質
5	カリウムイオン	mg/L	イオンクロマトグラフ法	
6	カルシウムイオン	mg/L	イオンクロマトグラフ法	
7	マグネシウムイオン	mg/L	イオンクロマトグラフ法	
8	アンモニア態窒素	mg/L	イオンクロマトグラフ法	
9	臭化物イオン	mg/L	イオンクロマトグラフ法	
10	硫酸イオン	mg/L	イオンクロマトグラフ法	
11	リン酸イオン	mg/L	イオンクロマトグラフ法	
12	モリブデン	mg/L	ICP-MS法	
13	溶存マンガン	mg/L	ICP-MS法	
14	溶解性物質	mg/L	計算法	
15	浮遊物質	mg/L	ろ過法	有機物質指標
16	クロロホルム生成能	mg/L	HS-GC-MS法	
17	ジブロモクロロメタン生成能	mg/L	HS-GC-MS法	
18	ブロモジクロロメタン生成能	mg/L	HS-GC-MS法	
19	ブロモホルム生成能	mg/L	HS-GC-MS法	
20	総トリハロメタン生成能	mg/L	HS-GC-MS法	一般有機 化学物質
21	キシレン	mg/L	HS-GC-MS法	
22	p-ジクロロベンゼン	mg/L	HS-GC-MS法	
23	1,2-ジクロロプロパン	mg/L	HS-GC-MS法	
24	フタル酸ジ(n-ブチル)	mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	消毒副生成物
25	ジブモアセトニトリル	mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	
26	トリクロアセトニトリル	mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	有機物質指標
27	有機物(溶存有機炭素(DOC)の量)	mg/L	全有機炭素計測定法	
28	紫外線吸光度E250	/5cm	吸光光度法	
29	紫外線吸光度E260	/5cm	吸光光度法	微 生 物
30	大腸菌群	MPN/100mL	特定酵素基質培地法	
31	ダイオキシン類	pg-TEQ/L	同位体希釈質量分析(ID-MS)法(外部委託)	非意図の生成物質

(6) クリプトスポリジウム等対策指針項目

(厚生労働省健康局水道課長通知 平成19年3月30日 健水発第0330005号)

	項 目	単 位	検 査 方 法	備 考
1	大腸菌	MPN/100mL	特定酵素基質培地法	指 標 菌
2	嫌気性芽胞菌	MPN/100mL	ハンドフォード改良寒天培地-疎水格子フィルター法	
3	クリプトスポリジウム	個/10L	親水性PTFEろ過-ボルテックス剥離法 -免疫磁気分離法-直接抗体染色法-DAPI染色法	耐 塩 素 性 病 原 生 物
4	ジアルジア	個/10L	親水性PTFEろ過-ボルテックス剥離法 -免疫磁気分離法-直接抗体染色法-DAPI染色法	

2. 水質検査等実施区分

2. 1 定期水質検査

2. 1. 1 管末給水栓検査（委託毎日）（V. 2 「管末給水栓検査（委託毎日）」を参照）

水道法施行規則第15条第1項第1号イにより、1日に1回以上行う項目とそれに関連する項目の検査。

2. 1. 2 水質基準項目検査（IV. 2 「水質検査結果」を参照）

水道法第20条第1項及び同法施行規則第15条第1項第1号ロの規定に基づき、給水栓を原則として行う水質基準項目の検査、並びに厚生労働省健康局水道課長通知「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について（平成15年10月10日健水発第1010001号）」の規定に基づき、原水及び浄水において行う同項目の検査。

2. 1. 3 水質管理目標設定項目検査（IV. 2 「水質検査結果」を参照）

厚生労働省健康局水道課長通知「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について（平成15年10月10日健水発第1010001号）」の規定に基づき行う検査。

2. 1. 4 水質管理上必要な項目検査（IV. 2 「水質検査結果」を参照）

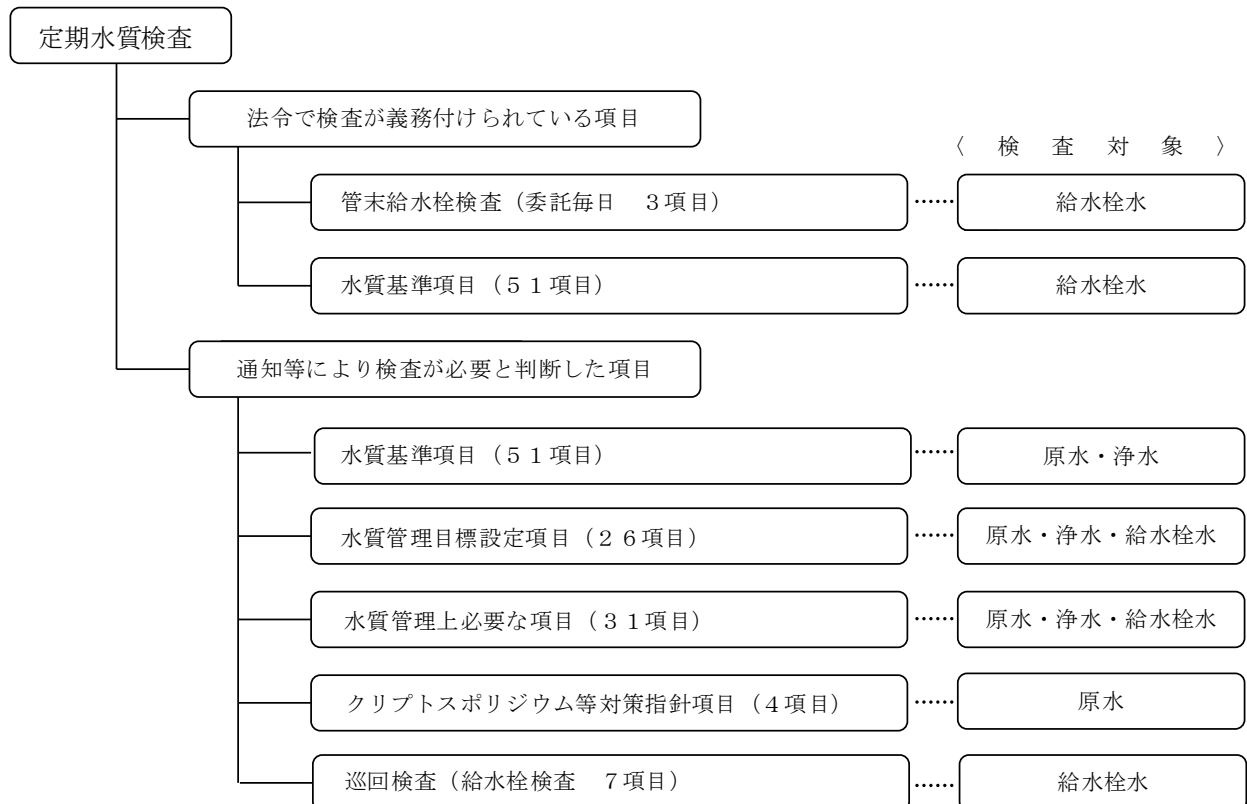
厚生労働省からの通知や水源の種別、浄水処理方法等を考慮し、水質管理を行う上で検査が必要と考えられる項目の検査。

2. 1. 5 クリプトスポリジウム等対策指針項目検査（IV. 2 「水質検査結果」を参照）

厚生労働省健康局水道課長通知「水道水中のクリプトスポリジウム等対策の実施について（平成19年3月30日健水発第0330005号）」の規定に基づき行う検査。

2. 1. 6 巡回検査（給水栓検査）（V. 3 「巡回検査」を参照）

水道水の安全性の確認、並びに異常の早期発見の見地から行う検査。



2. 2 水質試験

2. 2. 1 給水開始前及び通水前水質検査 (Ⅷ. 「給水開始前及び通水前水質検査」を参照)

水道法第13条に基づく配水池等の給水開始前や、送水管・配水管等の新設又は布設替工事後の通水前に行う検査。

2. 2. 2 臨時水質検査

水道法第20条第1項及び同法施行規則第15条第1項第2号の規定に基づき、水道水が水質基準に適合しないおそれがあるような場合等に行う検査。

2. 2. 3 漏水調査 (Ⅵ. 「漏水調査」を参照)

流出水が水道水であるか否かを水質的側面から解析するために行う調査。

2. 2. 4 市民からの問い合わせ・相談等に基づく調査 (Ⅶ. 「市民からの問い合わせ・相談等」を参照)

市民等からの水質に関する問い合わせや相談に際して行う調査。

2. 2. 5 維持管理上必要な調査

浄水処理工程水検証や水質計器調整等に伴い行う調査。

2. 2. 6 残留塩素管理上必要な調査 (Ⅴ. 「残留塩素等の管理」を参照)

本市職員の作業内容や、毎日検査委託者からの残留塩素濃度に関する報告に基づき行う調査。

2. 3 調査・研究

2. 3. 1 大分川調査 (Ⅹ. 1 「大分川原水調査」を参照)

大分川上流域河川状況の把握と、河川水のpH値、臭気、外観、プランクトン等についての調査。

2. 3. 2 大野川調査 (Ⅹ. 2 「大野川原水調査」を参照)

大野川上流域河川状況の把握と、河川水のpH値、臭気、外観、プランクトン等についての調査。

2. 3. 3 プランクトン等調査 (Ⅹ. 3 「プランクトン等調査」を参照)

主要河川の取水口上流域におけるプランクトンの挙動を詳細に調査するものであり、理化学的な基礎項目を加えた委託調査。

2. 3. 4 ダイオキシン類調査 (Ⅹ. 7 「ダイオキシン類調査」を参照)

市内各浄水場において、隔年で実施するダイオキシン類の委託調査。

3. 水質検査等実施件数

平成29年度

実施区分		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
定期水質検査	管末給水栓委託毎日検査（委託箇所数30件）	回	847	871	849	884	867	844	861	843	863	855	786	863	10,233	
	水質基準項目検査	検体	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	408
		項目	1,070	1,046	1,045	1,070	1,046	1,045	1,070	1,046	1,045	1,070	1,046	1,045	1,045	12,644
	水質管理目標設定項目検査	検体	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	408
		項目	368	865	890	987	886	866	963	355	380	392	376	356	7,684	
	水質管理上必要な項目検査	検体	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	408
		項目	602	609	633	651	615	594	602	609	633	651	615	594	594	7,408
	クリプトスポリジウム等対策指針項目検査	検体	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
		項目	22	22	22	28	26	30	22	22	22	22	28	26	30	300
	巡回検査（給水栓検査）	検体	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
項目		60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720	
その他の水質試験	給水開始前及び通水前水質検査	件	0	0	0	0	0	1	2	0	1	3	2	1	10	
		検体	0	0	0	0	0	2	2	0	1	3	2	1	11	
		項目	0	0	0	0	0	50	104	0	52	156	64	52	478	
	臨時水質検査	件	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	6	
		検体	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	6	
		項目	0	0	0	0	0	0	0	0	175	156	86	172	589	
	漏水調査	件	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	2	5	
	市民等からの問合せ・相談に基づく調査	件	4	4	3	2	4	2	2	4	4	1	2	1	33	
	調査・研究	大分川調査	件	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
			検体	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
項目			233	233	233	233	233	233	233	233	233	233	233	233	233	2,796
大野川調査		件	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		検体	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
		項目	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	1,884
プランクトン等調査（委託）		件	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		検体	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
		項目	83	83	83	83	83	83	83	83	83	83	83	83	83	996
ダイオキシン類調査（委託）		件	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	
	検体	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4		
	項目	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	12		